むこう 市議会だより

2026/11/1
（令和８年）
268号



「向日市議会基本条例（案）」にご意見をありがとうございました。

寄せられた意見の概要と市議会の考え方を後日、市ホームページなどで公表します。

第３回 定例会

もくじ

定例会の概要…… Ｐ２
令和7年度決算 …… Ｐ３
一般質問…… Ｐ６
議決結果一覧……P11
議会のうごき ……P12

YouTubeでも定例会の様子がご覧いただけます。

向日市議会チャンネルはこちら→

傍聴者向け配付資料はこちら→

令和8年

第3回定例会

令和7年度向日市一般会計決算など17議案を同意及び可決し、1議案を否決

令和８年第３回定例会は、８月24日から９月17日まで、25日間の会期で開かれました。

本定例会で提案された議案は下表のとおりです（うち１件※は継続審査となっていた議案です）。このほか、議員から意見書案４件が提出され、市民等からは「向日市長選挙及び向日市議会議員選挙の同日実施に向けて議会の決断を求める請願」を含む、請願２件が提出されました。

※継続審査となっていた「向日市議会政治倫理条例の制定について」の議案は、付託されていた議会運営委員会から委員長報告がなされた後、討論を行い、採決の結果否決されました。

議決結果一覧は、P11に掲載しています。

可決された主な議案

人事議案に同意

【教育委員会委員】

中野（なかの）　緑（みどり）　氏（寺戸町渋川）

【人権擁護委員】

髙畑（たかはた）　幸子（さちこ）　氏（鶏冠井町御屋敷）

吉川（よしかわ）　昭子（あきこ）　氏（寺戸町三ノ坪）

【物集女財産区管理委員】

中山（なかやま）　忠厚（ただあつ）　氏（物集女町中条）

山本（やまもと）　幹雄（みきお）　氏（物集女町堂ノ前）

安田（やすだ）　悟（さとる）　氏（物集女町中海道）

安田（やすだ）　喜幸（よしゆき）　氏（物集女町北ノ口）

黒田（くろだ）　博幸（ひろゆき）　氏（物集女町北ノ口）

山田（やまだ）　昇（のぼる）　氏（物集女町中海道）

令和８年第３回定例会に提出された議案

決　　算	**８件**
補　正　予　算	**４件**
一般会計補正予算	２件
特別会計補正予算	２件
人　　事	**４件**
教育委員会委員	１件
物集女財産区管理委員	１件
人権擁護委員	２件
条　例　の　制　定	**１件**
条例の一部改正	**１件**
合　　計	**18件**

令和８年度向日市一般会計補正予算（第４号）

令和８年度向日市一般会計補正予算（第４号）は、歳入歳出予算総額に３億３３２４万７千円を追加し、歳入歳出予算の総額は、２９６億５７２７万２千円となりました。補正予算歳出の主な内容は次のとおり。

◎ベビーケアルーム設置に係る費用……３８１万円
◎過年度の国及び府支出金の精算に伴う返還金……２億４２６７万円
◎下水道使用料の基本料金１期分の半額を減免する費用として繰出……２６５０万円
◎やむを得ない事情により小学校給食を恒常的に喫食できない児童の保護者に対する小学校給食非喫食者支援給付金……３００万円
◎史跡物集女城跡買上事業に係る費用……３５７０万円
◎防犯カメラ設置に係る費用……１７５０万円
◎ベビーケアルーム設置に係る費用……３６７万円

向日市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、向日市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正するもの

令和７年度 ８会計決算を認定

令和７年度一般会計の決算状況は、歳入286億2,655万円（対前年度9.2％増）、歳出265億3,816万円（対前年度8.1％増）、歳入歳出差引総額20億8,839万円で翌年度に繰り越す事業の財源を除いた実質収支は19億6,205万円となりました。

採決に際し、４議員が賛成討論、２議員が反対討論を行いました。要旨は次ページ以降に掲載しています。

なお、紙面の都合上、会派の大きい順番で掲載しています。

令和７年度の主な事業

（１）歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○史跡長岡宮跡大極殿東面回廊地区保全整備事業……3,995万円
○向日庵（旧寿岳家住宅）買上事業……8,409万円
○史跡物集女城跡買上事業……２億5,474万円
○道路整備推進事業……１億8,048万円
○JR向日町駅東口開設推進事業……19億5,822万円
○ゼロカーボン推進事業……9,977万円
○防災力強化事業……7,688万円
○水道管路の耐震化事業……１億7,210万円
○水道料金及び下水道使用料の基本料金減免……１億1,777万円

（２）人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○保育環境改善事業……380万円
○こどもの生活・学習支援事業……440万円
○第１留守家庭児童会増築事業……１億2,834万円
○民間放課後児童クラブに対する運営等補助事業……3,158万円
○５～６年生の自習室拡充事業……16万円
○がん患者のアピアランスケア支援事業……45万円
○学校給食費保護者負担軽減事業……3,562万円
○寺戸公民館整備事業……１億2,267万円
○新市民温水プール整備事業……5,192万円

（３）信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○被爆80年平和祈念事業……87万円
○自治体DX推進事業……748万円
○ご当地ナンバープレートデザイン更新事業……42万円

令和７年度決算額

区分		歳入	歳出
一般会計		286億2,655万円	265億3,816万円
特別会計	国民健康保険事業	47億7,638万円	46億9,094万円
	後期高齢者医療	12億1,709万円	11億7,018万円
	介護保険事業	55億9,565万円	53億4,488万円
	大字寺戸財産区	1,290万円	1,105万円
	物集女財産区	1,022万円	980万円
水道事業会計	収益的収支（税抜）	12億119万円	11億4,953万円
	資本的収支（税抜）	2億1,798万円	6億8,854万円
公共下水道事業会計	収益的収支（税抜）	15億1,886万円	15億1,886万円
	資本的収支（税抜）	4億158万円	9億8,699万円

一般会計決算 討論

※文責は会派及び議員にあります。

反対

市民のくらしを支える政治を

日本共産党議員団　米重　健男　議員

長引く円安と物価高騰の中で、ＪＲ向日町駅東口開設・駅東側再開発をはじめとする、大型開発の負担と市民の生活逼迫や高齢化に伴う社会保障費の増加が影響し過去２番目の規模となった決算である。歳入では企業誘致に伴う法人市民税が誘致企業の業績悪化で減額となった分を市民税の増加が補っている。固定資産税は増えたが実質収支の伸びは国庫負担金と市債が増えたことによるもの。強固な財政基盤とは言えないが、改善はしており、成果の市民福祉への反映が期待される。

特に評価できないものとして、ＪＲ向日町駅東側再開発事業のタワマン建設、Ｊアラート更新、保育所給食の調理業務の民間委託、高額な保育料上限、高額な国保料への無策、マイナンバーカードの促進、アリーナ建設地の近隣市民の懇談要望に市長が応えない姿勢である。

特に評価する事業は、向日庵買上、街路整備、ＪＲ向日町駅東口開設、ゼロカーボン推進の空調買替え等補助金、防災資機材・備蓄物資・防災情報伝達システム整備、水道管路耐震化、上下水道の基本料金減免、第１保育所の空調改善、こどもの生活・学習支援、第１留守家庭児童会増築、がん患者のアピアランスケア支援、学校給食費保護者負担軽減、第２向陽小学校改築、寺戸公民館新築、市民温水プール整備、被爆80年平和祈念事業、生理用品の公共施設への設置、住宅耐震診断・改修、古紙等集団回収助成金、ぐるっとむこうバス運行である。

今後、実施すべき施策として19項目を要求した。議案としては一括での提案であるので反対とした。

賛成

向日市の飛躍に向けた決算

自民クラブ　上田　雅　議員

令和７年度は、災害対策の重要性が高まる中で避難所運営に必要な資機材等の整備を進め、防災力の強化に取り組まれた。物価高騰対策では、水道料金及び下水道使用料の基本料金減免を行い、子育て世帯や生活困窮世帯へは給付金支給などの助成も評価する。主要施策では、史跡長岡宮跡大極殿東面回廊地区を史跡公園としての整備や、国登録有形文化財である向日庵、国の史跡指定を受けた物集女城跡の用地取得など、本市の魅力ある資源を積極的に活用されたことも評価する。都市基盤の整備では、都市計画道路である牛ケ瀬馬場線をはじめ、幹線道路や生活道路、通学路や自転車利用環境の改善を図り、一層の交通安全対策が推進された。ＪＲ向日町駅東口開設推進事業では、自由通路及び橋上駅舎の一部供用が開始されたことなど、今後のまちづくりを大きく進める取組であると評価する。また第１留守家庭児童会を増築し、より多くの児童の受け入れや公立保育所が快適な環境で保育ができる空調設備の実施設計なども進めた。そして、地域住民の活動の拠点となる、新たな寺戸公民館の整備や市民温水プール整備の基本設計業務も進めたことを評価する。また向日市民平和と人権のつどいの開催や被爆アオギリ二世の苗木を植樹されるなど、平和の尊さや生命の大切さを考える事業や「たけのこりん」を使用したご当地ナンバープレートデザインの更新も評価する。今後はさらに、市民の声や我々の意見を市政に反映して、力強く推進していただくことを要望して、自民クラブの賛成討論とする。

賛成

北陸新幹線新駅で積極的な事業を

日本維新の会　村田　光隆　議員

本年７月28日に発生した地震は、熊本県で大きな被害をもたらした。

また、各地で立て続けに大雨が発生し、大きな浸水被害をもたらしている災害は、本市でいつ発生してもおかしくはない。

引き続き水道管路の耐震化をはじめとした、防災力の強化を推進していただきたい。

昨年より使用できるようになった、小中学校体育館の冷房設備は、授業だけではなく、災害時や市民も使うことができ、大変喜ばれている。

４月１日から導入された自転車の「青切符」制度では、自転車が歩道から車道へ誘導されることになり、車との接触事故が懸念されている。

本市では６月の一般質問で自転車の通行帯を積極的に設置していただけるとの答弁をいただき、歩行者、自転車、自動車の安全な通行ができることと期待している。

ＪＲ向日町駅東口開設推進事業は駅舎が橋上化され、東口もいよいよ令和８年度中の開設予定となっており、明治の鉄道開業以来東西が結ばれることになる。

水道料金及び下水道使用料の基本料金減免措置は、物価高で困っている市民へ少しでも負担を減らすことのできる施策であると評価している。

今年度も引き続き、水道基本料金の減免事業を行っていただき、感謝申し上げる。

北陸新幹線与党整備委員会がＪＲ桂川駅周辺を通るルートに決定した。

多大な恩恵を受ける本市でも、新たな事業を積極的に推進していただきたい。

討論　一般会計決算

※文責は会派及び議員にあります。

賛成

市の発展を見据えた決算を評価

公明党議員団　福田　正人　議員

公明党議員団が要望している重要施策から特に評価する事業を挙げる。物価高騰に係る事業では、住民税非課税世帯への給付金や定額減税給付（不足額給付）事業に加え、子育て応援給付金事業の実施や、学校給食費保護者負担軽減事業、水道料金の基本料減免の事業を評価する。続いて福祉と教育施策を強化する観点から少子化・子育て支援では、公立保育所への空調の整備と防犯カメラの設置、さらに入所児童数の増加に合わせ、第１留守家庭児童会を増設し、さらに養育環境に課題を抱える児童等に生活習慣の習得支援・学習支援・食事の提供を行う「こどもの生活・学習支援事業」を実施された点を評価する。将来を見据えた都市基盤の整備では、大極殿公園と一体化を図る大極殿東面回廊地区の整備や府内初の中世城館の史跡に指定された物集女城跡用地を取得、さらには、幹線道路の整備を推進すると共に、通学路や生活道路の整備と自転車利用環境の改善を図られた事を評価する。さらに本市の発展の象徴ともいえるＪＲ向日町駅再開発事業では東口周辺基盤整備を進められた点を高く評価する。最後にゼロカーボンの取組では、公共施設でのＬＥＤ化や高効率空調機器の導入と太陽光発電設備の導入を行い、一般家庭への支援として太陽光発電設備や蓄電池の導入と、省エネエアコンの買い替えに係る補助事業を推進された事を評価する。今後激甚化する自然災害への更なる対策を望み、令和７年度向日市一般会計歳入歳出決算の認定について賛成をする。

賛成

持続可能なまちづくりへの決算

ＭＵＫＯクラブ　近藤　宏和　議員

決算審査の重要な役割は、これまでの行政運営を振り返り、その成果と課題を明らかにし、次年度以降のより良い市政につなげていくことにあると考える。決算カードを見ると、本市の人口は減少傾向に転じ、生産年齢人口の減少も今後さらに進むことが懸念されている。働く世代が減少すれば、市税収入など市の収入にも影響が生じる一方、高齢化に伴う社会保障費の増加など、必要な支出は増えていくことが予想される。また、減税補填債等を経常一般財源から除いた場合の経常収支比率は94・2％となっており、市の収入の多くが毎年必要となる経費に充てられている状況にある。今後、第２向陽小学校や市民プールなど、多くの公共施設の建て替えも控えており、限られた財源をどのように活用していくかは、本市にとって非常に重要な課題である。だからこそ、予算を編成する段階だけでなく、実際に事業を執行する段階においても、その事業が本当に必要なのか、より少ない経費で同じ、あるいはそれ以上の効果を生み出せないかという視点で、不断の見直しを行うことが重要であると考える。そして、そうした努力によって生み出された財源を基金に積み立て、将来の公共施設整備や災害対応、次世代への投資に備えていくことは、持続可能な行政運営のために欠かせない。決算はそこから何を学び、次の世代にどのようなまちを引き継ぐのか、未来への責任を確認する機会でもある。今回の決算で得られた成果と課題を、次年度以降の市政運営に活かし、持続可能な向日市の実現につなげていただくことを期待し、賛成討論とする。

反対

予算と決算の隔たり大きく不健全

明日の向日　杉谷　伸夫　議員

主な反対理由は２つだ。１つは、ニデック社が開発中の土地への格安の農地課税は違法だとした判決を受け入れず、最高裁に上告したことだ。多額の税収を放棄する裁判は市民の利益に反する。

２つめは、予算と決算の隔たりが著しく大きく健全な財政運営とはいえないことだ。向日市の一般会計決算はここ数年、毎年度十億円前後のお金が余り、その余ったお金が、公共施設整備基金や翌年度繰越金に回されている。老朽化が進む公共施設の整備に向けて財政面の備えをしっかりしていかなければならないが、必要な基金は計画に基づいて予算化し、執行していくべきだ。向日市財政は、赤字で破綻するリスクは少ないが、市民生活への様々な支援策等をもっと積極的に実施できたのではないかと考える。

注目した事業は、①上下水道の基本料金の減免や、小中学校給食費値上げ分の補助など市民生活への支援、②市民が利用する寺戸公民館、市民温水プールの設計が進められたこと、③ゼロカーボン推進事業の利用が大きく伸びたことなどだ。

「市民とともにまちづくりを進める」視点から、更なる改善を求めたいものは、①市民へ大切な情報を届ける広報活動について、ＳＮＳの本格活用の体制づくり、②計画に基づく小中学校の建替の第一陣となる第２向陽小学校の建替を、情報をオープンにして進めること、③市民が使い易い市民会館をめざした利便性の改善、④利用しやすい防災士育成事業への改善の他、女性消防団の早急な導入、市民防災士を活かす仕組みづくり、自治会と市民防災士の連携など防災事業の抜本強化だ。

主な質問と答弁

一 般 質 問

あなたも議会の傍聴をしませんか？

本会議当日、受付で住所・氏名など記入の上、傍聴券の交付を受けて入場することができます。

ただし、体調不良の場合は、傍聴をご遠慮いただいています。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。また、本会議は議場前の議会中継視聴室、本館フロアロビー、東向日別館３階のテレビモニターで生中継しています。

一般質問発言通告表は、ホームページや公共施設等で事前に公開されます。

※質問の文責は議員にあります。

一般質問発言通告表はこちら→

第３回定例会での一般質問は、９月３日・４日の２日間にわたり行われました。

質問・答弁とも１人２問までに絞り、内容を要約しましたが、詳しくは11月末ごろ、会議録に掲載されます。

会議録は市役所、図書館のほか、インターネットでも閲覧できます。

向日市議会ホームページへのアクセスは検索画面で
向日市議会 **を入力して** 検索 **クリック**

質問者名の下のQRコードは、読み取ると本会議YouTube配信の質問者掲載部分が視聴できます。質問と答弁が休憩をはさむ場合はQRコードが２つ掲載されています。

※なお動画については配信後１年間の掲載となっています。



日本共産党議員団
丹野直次議員

公共交通充実の自治体の役割を

来春の阪急バス63系統廃止に利用者から不満の声がある。新聞報道では「地域の公共交通を持続的に維持するため、自治体や関係機関と検討を進めている。」との内容だったが、阪急バスと話し合いをしたのか。今後の見解を伺う。

都市整備部長　交通空白地が生じる京都市と検討を進めたときいているが本市に事前相談はなく６月に廃止公表され８月の地域公共交通会議で説明があった。市民生活に欠かせない交通手段であるため急な減便廃止をしないよう申し入れていく。



北陸新幹線延伸と桂川案に反対を

与党整備委員会は延伸計画の桂川新駅で合意した。無駄と環境破壊の計画に多くの市民は驚いている。「着工５条件」の①財源見通し②収支採算性③投資効果（費用便益比）等がクリアできていない。本市地下水への影響が出るとのことだが反対すべきではないか。

都市整備部長　国は条件を満たした上で着工するとしており関係機関で検討が進められると存ずるが、本市は計画ルート上にないためルート上の自治体の議論を差し置き賛否を述べるのは適切ではない。引き続き動向を注視し必要な情報提供や丁寧な説明を求めていく。

○その他の質問
・アリーナ周辺住民の意見を聞くこと



自民クラブ
米澤知紀議員

シナチクノメイガ対策について

令和８年度主要事業として補助制度が創設されたが、対象は農薬散布に限られている。農薬散布は隣接竹林との調整が必要で、高所作業など負担が大きく実施しづらいとの声もある。農薬散布以外の選択肢について、本市の検討状況を伺う。

環境産業部長　府の対策方法は薬剤散布しか示されていないが、本市のタケノコ農家の方が養生テープで独自の除去法を考案し、一定効果が認められる優良事例として、府内で紹介された。今後も竹林管理の強化、被害箇所の早期発見・対応に繋げたい。

かぐやの灯のライトアップ活用を

上植野浄水場配水塔は、ライトアップ、愛称募集、横断幕掲示により啓発活動として大きな成果を上げている。こうした状況を踏まえ、クリスマスや「かぐやのタベ」など、季節行事や市のイベントと連動したライトアップを行うことについて伺う。

ふるさと創生推進部長　光るランドマークの価値を活かしたにぎわい創出と市の魅力発信につながり大変有意義だ。周辺の生活環境や農作物等に配慮し、市のイベントや季節の情緒に合わせカラー演出を行う等、新たな活用を検討していきたい。

○その他の質問
・職員の災害派遣体制
・人権尊重のまちづくり



日本維新の会
長谷川愛議員

府道67号線の交通環境と安全対策

市民の日常生活を支える重要な道路である府道67号線の福祉会館前交差点の時差信号により南行き右折車両が交差点内に取り残される状況が見受けられる。また中垣内交差点では夕方に南行き右折車両が滞留し渋滞が発生していることから、交通状況や安全上の課題について伺う。

市長　この府道は円滑通行が困難で拡幅が必要だと、議員になる前から感じていた。拡幅は整備を進めるためにも、府のアリーナ整備に賛成し、府には周辺道路を整備いただいている。今後も事業を後押しし、連携して課題解決に取り組む。

学校個別支援員について

子どもたちへの支援の質を高め、より良い支援体制につなげるため、実際の支援に携わる支援員の働き方や課題、現場で感じている声を把握する仕組みを設けているか。また支援体制にどのように反映しているのか伺う。

教育長　担任等が支援員の思いを聞き管理職に報告・相談を行い教育委員会も助言する等対応に努めている。子どもの状況に応じた支援が重要で教室環境を工夫する等、必要に応じ特別支援教育支援員が支援を行っている。今後も一人一人を大切に教育推進に努めたい。



公明党議員団
冨安輝雄議員

人的受援体制の運用状況について

大規模災害時は自治体職員も被災して深刻な人手不足となるため、住民の生活再建には外部応援職員を迅速に活かす受援体制が不可欠である。本市における人的受援体制の位置付けや運用状況、対象業務の範囲について伺う。

市長　大規模災害時に国や府、他自治体の応援を活かす受援体制整備は大変重要だ。幸い本市は大災害に見舞われたことがなく運用はないが業務範囲は給水やトイレ等の生活に関すること、健康管理や罹災証明に関すること、道路等災害復旧に関すること等多岐にわたると考えている。

災害時受援体制の訓練について

災害時は計画どおりに進まないことも想定せねばならない。庁舎使用不可や予定宿泊施設被災等のシナリオを設定し、応援要請から受入れ、配置までを確認する実践的訓練の実施予定について伺う。

環境産業部長　シナリオを設定した実践的な訓練は重要であるが、庁舎の一部使用不能等の想定外の具体的事案のシナリオは多岐にわたる。まずは全ての職員が基本的な行動を確実にとれるよう訓練を行っていきたい。





MUKOクラブ
近藤宏和議員

デジタルウェルビーイングについて

これからの時代、デジタルの便利さを享受しながらも、心身の健康や生活とのバランスを保つデジタルウェルビーイングの視点が重要である。スマートフォンを使いこなす力は必要だが、子ども達の心身の健康や学ぶ力を守ることも教育の大切な役割だ。子ども達がデジタルと健全に付き合い、成長していくために学校教育はどのような役割を果たす必要があるか。

教育長　ＩＣＴ機器を使用した情報活用能力を身につけることは必要だが、長時間利用等健康や社会に及ぼす影響を理解し情報モラルを高めることも重要だ。今後も主体的に学び、自らの人生を舵取りできる力を育めるよう教育の充実に努めたい。

男性の産後うつと課題認識について

男性の産後うつや父親の孤立に関する課題認識、父親向けの相談支援や情報提供の現状について、本市の見解を伺う。

市長　育児に戸惑い不安を抱える男性もおられるのではと感じており、市では父親向け啓発冊子の配布や男性が悩みを匿名で相談できる事業等を実施している。今後も男性も含め子育て中の方が不安や孤独感を深めることのないよう切れ目のない支援を実施したい。

○その他の質問
・父親への育児支援の取組と子育て環境
・スマホ使用による影響



明日の向日
杉谷伸夫議員

京都アリーナ巡る市長の政治的責任

交通渋滞やアクセス道路、生活環境への影響など、市民が懸念する多くの問題が解決しないまま、アリーナの開業を迎えることになりそうだ。京都府からこれらの課題を「いつまでに、どのように解決するか」という納得いく説明が行われていると市長は考えるか。

都市整備部長　開業に間に合うよう出来ることから一つ一つ対策が講じられ、納得のいく説明も、具体的に目に見える形で府から示されると考える。

○その他の質問
・アリーナ計画で困っている住民に会い、直接声を聴かないのか

市役所敷地内の撮影等禁止について

向日市は市庁舎管理規則を改訂し、市役所の敷地内での撮影、録音、録画、配信などを、公務上支障がないものとして、管理責任者等が認めるものを除き禁止したが、疑問である。今回の改訂によって、これまでと比べて何が変わるのか。

総務部長　スマートフォン普及等で全国的に迷惑行為が問題になり、多くの自治体で庁舎管理規程の改正が行われた。本市も迷惑行為抑制のため明文化する必要があると判断し改正した。禁止行為は市民の知る権利を制限するものではなく、プライバシーや個人情報を保護するもので、過度の制限ではないと考えている。



松本みゆき議員

中学校区と通学環境のあり方

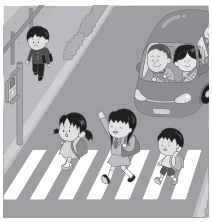
北部地域の開発により子どもの人口分布は変化。校区や通学距離が適切であるか検証する必要がある。通学距離について地域ごとにどの程度の差があるのか、また最も遠い距離にも差があるのか。今後どのように対応を検討されるか伺う。

教育長　各中学校通学区域で最も遠い地域は直線で約１・８ｋｍである。学校間で差がどの程度か等は把握していないため通学区域検証の際は整理の必要があると考える。道路が狭く交通量が多いため、生徒の安全確保と負担軽減を両立する通学方法検討は、まず他市の状況把握に努めたい。

綾部市との友好都市交流について

友好都市関係という大切な財産がある。築かれてきた交流を大切にし子どもや若い世代、市民団体等も参加できる新たな交流の形へとつなげることが必要だ。綾部市との関係を生かし、両市それぞれの地域資源を活かす交流の再活性化をすることができるのではないか。

市長　綾部市との交流はウオーキングによる健康都市づくりの取組をきっかけに交流を深めてきたが、コロナ禍で中断している状況である。今後は双方の市民ニーズを見極め新たな交流手法や連携の可能性を検討していく。





日本共産党議員団
北林智子議員

高齢者に補聴器の購入助成を

加齢性難聴は高齢者の安全や健康を損ない、社会参加を妨げ、認知症・うつ・フレイルの一因ともなるが、補聴器は高額で利用が進まない。全国で補助制度が急増し、大山崎町でも導入される中、安心と自立を支えるため本市でも購入補助の制度を創設してほしいがいかがか。

副市長　補助制度創設は基準や範囲を設けることが難しく、また加齢性難聴は全国共通の課題であるので、国制度で補助すべきと考えており市独自の制度創設は難しい。府の新制度ができる可能性もあり動向を注視したい。

小中学校のトイレに生理用品設置を

学校トイレへの生理用品の常備は、ただの物品提供ではなく、子どもの人権・尊厳・健康・学習権・ジェンダー平等を守るための基礎基盤となる。本市でもトイレットペーパーのように常備設置をしてほしいがいかがか。

教育長　生理用品の保健室常備は児童生徒が自ら心や体に対する正しい理解を元に、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする力を育むこと、教職員が状況把握し様々な支援を行うことを目的としている。また現場からも支援の機会になっていると報告も受けており現時点では考えていない。

○その他の質問
・来年度の小学校給食無償化の継続及び、中学校給食の実施について



日本維新の会
青山まゆみ議員

認知症高齢者と家族の支援体制

現在の見守りＳＯＳネットワークの支援を更に前進させるためのＧＰＳ端末の導入は本人の安全確保、早期発見、そしてその家族の心身の負担軽減にもなると考える。ＧＰＳ等のＩＣＴを活用した総合的な見守り体制へ発展させてはどうか。本市の見解を伺う。

市長　位置情報を確認できるＩＣタグが市販される等、情報通信技術の発達で便利なツールがあることは承知している。位置情報の把握による早期発見効果が期待できることから、導入を前向きに検討したい。

災害時の処方箋の運用

薬は必要な方にとっては命に関わるものであり、災害時の処方箋の運用は被災者を守る重要な仕組みである。現場の医療者、薬局、支援団体にまで滞りなく浸透し活用できる体制を整えていただきたいが、市長の見解を伺う。

環境産業部長　災害処方箋は、災害時の保険医療機関以外での診療で交付されるが、制度の円滑活用には支援団体等に周知し対応できる体制を整えることが重要である。防災訓練等で、避難時のマイナンバーカード持参等を啓発するとともに制度浸透につき関係機関と連携していきたい。

○その他の質問
・訪問型レスパイト支援導入は
・備蓄品の検証について



公明党議員団
福田正人議員

健康寿命の延伸について

難聴者対策として、現在多くの自治体の窓口対応では「骨伝導イヤホン」が設置されている。今後増加すると思われる。設置については、情報のバリアフリー化を促進し、情報の個人間格差をなくし、すみやかに情報が伝わる。本市においても設置を求めるがいかがか。

市長　骨伝導イヤホンの窓口設置は加齢で耳が聞こえにくい方の聞こえづらさを緩和し、大声を出さずにやりとりできるためプライバシーが守られる利点もある。耳が聞こえにくい方の手続きがスムーズに行えるよう窓口に設置してまいりたい。

市民の生活環境について

向日台団地では新１棟が完成し、１２３室が設置されたが、居住者のみの入居で、その他の募集はないと聞く。市営住宅での空き室はあるのか。募集はしないのか。災害に遭われた方のための対応なのか、説明を求める。

副市長　空き室は９室で地震等の被災者の受入れのため備えており、熊本地震の被災者から入居希望があった際には速やかに入居できるよう準備している。また市内には宿泊施設がないため、市営住宅にある程度の空き室を政策的にも確保する必要があると考えている。

○その他の質問
・補聴器に代わる集音器の助成支援について



MUKOクラブ
和島一行議員

本市の公園について

新市街地内の寺田西公園ではバイク等の侵入防止のため簡易バリケードが設置されたが、竹の広場に繋がる公園として非常にもったいない景観になった。劣化したものは交換などされているとの事だが、他の公園にも設置されている埋込式のバリケードにできないか。

市長　当初は、歩道と公園の一体的利用が望ましいとの考えから柵を設置しなかったが、バイクや自転車が公園内に侵入し危険なため、簡易バリケードを応急的に設置した。新たな柵については、見た目の印象や景観に配慮し設置してまいりたい。

衣類のリサイクル率アップについて

本市でリサイクルされる衣料は上植野浄水場に設置しているエコゲートに集積される。近隣の住民には周知されていると思うが、遠隔地域の住民の古着の回収をどのように考えているのか。回収拠点設置を予定、検討等されているのか。

環境産業部長　身近な場所で資源物を回収できる環境を整えることは、リサイクル推進を図る上で重要であると認識している。今後新たな回収拠点を設ける際には、持ち込みしやすい場所で一定の広さの土地を確保する等の条件を考慮し、場所の選定検討を進めたい。



明日の向日
林リエ議員

向日市の農の未来をどう守る

向日丘陵は農業、景観等が詰まった市の貴重な資源だが、この資源を守るには農業従事者の高齢化や後継者不足が深刻だ。自主性のみに依存しては状況打開が難しい。本市がリーダーシップをとり対策を進めていくべきではないか。

市長　農業全体が従事者の高齢化等大変厳しい状況にある。国や府の農業政策の構造を根本的に変える必要があり、市で対策を行うだけでは解決できないと考える。竹林は市の誇る景観で維持する必要があり、しっかり考えながら維持に努めたい。

本市の財産である職員の働き方

本市の退職者の７割が自己都合退職者だ。離職要因を構造的に把握しないまま、本市で働き、経験や知見を多く持つ職員を失うことは大きな損失だ。まち創りは人創りであり、向日市の未来を創るのは職員だ。この現状に市はどの様な対策を行ってきたのか。

総務部長　退職理由は様々で、社会変化に伴い今後も一定数の離職者が生じると考える。一方で採用者は退職者と同数で、職務経験者採用の実績も高い。経験や能力を発揮できる環境を整え職務経験者の知見を生かしながら人材育成に努めたい。

○その他の質問
・防災の進捗と、公式ＬＩＮＥ防災機能の早急導入について



日本共産党議員団
米重健男議員

アンダーパスの水没対策について

いろは呑龍トンネルの計画対象降雨では、記録的短時間大雨の際の排水能力に限界が生じ、冠水する可能性がある。市内７カ所のアンダーパスにおける許容される時間当たり降水量はどの程度か。

市長　設備の保守点検や停電等を想定した道路冠水復旧訓練を定期的に実施し万全の体制が整うよう努めている。

都市整備部長　各地下道周辺の側溝の改良等で１時間当たり61・１ミリの降雨に対応が可能である。冠水の際は地下道の電光掲示板で注意喚起する等の体制を整えている。

イオンモール熊本の爆発事故から

イオンモール京都桂川では市民も多く働いており、同様の事故が起これば被害が出る可能性が高い。類似の事故の際の取り決めはどうなっているか。

環境産業部長　イオンが新たな防災基準策定等に向け事故調査委員会を発足したばかりであり、今後報告書や内容が出され、反映された取組の公表後、必要に応じて協議したい。

○その他の質問
・「かけはし」について
・体育館空調について
・３保跡地について





日本維新の会
村田光隆議員

職員の持続可能な人材確保について

自治体職員の仕事の在り方、考え方が大きく変わっている昨今、職員の採用にあたって自治体間競争が激しい中、職員が安心して働くことができる環境づくりに取り組んでこられたことは何か。

市長　市内居住職員の住居手当加算導入の他、細やかに昇任できる仕組みを整える等、市独自の取組を重ねている。職員とのコミュニケーションは大切だと感じており、今後も労働環境維持・向上に適切に対応し能力や経験を発揮し安心して働ける職場づくりに取り組む。

デジタル教科書の導入について

デジタル教科書が紙と同様に正式な教科書と位置付ける学校教育法が改正された。

次期学習指導要領から順次導入されるが、すでに導入している北欧では、学力が低下しており、紙の教科書に戻すという動きが起きている。

導入について慎重であるべきではないか。

教育長　低学年や、文章を読む国語、紙に書く計算等は紙の教科書がよいと考えるが、英語の発声や図形問題等はデジタル教科書の方が質の高い学習になるとも認識している。国が策定予定の基本指針の内容をふまえ導入を検討していきたい。

令和８年第３回定例会

議決結果一覧

○＝賛成、×＝反対、退＝退席、除＝除斥、欠＝欠席　※議長（山田）は、可否同数以外は採決に加わりません。

番号	件名	議決結果	日本共産党議員団				自民クラブ			日本維新の会			公明党議員団		MUKOクラブ		明日の向日		
			山田	北林	米重	丹野	米澤	上田	天野	村田	青山	長谷川	福田	冨安	和島	近藤	杉谷	林	松本
賛否が分かれた（除斥含む）議案等																			
議案54	向日市議会議員政治倫理条例の制定について ※令和8年第2回定例会からの継続審査となっている議案です。	否決	－	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×
議案59	令和７年度向日市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	－	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案60	令和７年度向日市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	－	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案61	令和７年度向日市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	－	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案62	令和７年度向日市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	－	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
請願３	向日市長選挙及び向日市議会議員選挙の同日実施に向けて議会の決断を求める請願	採択	－	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	退
意見書5	化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書	原案可決	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
意見書6	自転車の子ども同乗基準の見直しを求める意見書	原案可決	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
意見書7	働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とILO三者構成原則の堅持を求める意見書	原案可決	－	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

全会一致（全議員賛成）

議案55	教育委員会委員の任命について(中野 緑 氏)	同　意
議案56	物集女財産区管理委員の選任について （中山 忠厚 氏、山本 幹雄 氏、安田 悟 氏、安田 喜幸 氏、黒田 博幸 氏、山田 昇 氏）	同　意
議案57	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて(髙畑 幸子 氏)	同　意
議案58	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて(吉川 昭子 氏)	同　意
議案63	令和７年度大字寺戸財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
議案64	令和７年度物集女財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
議案65	令和７年度向日市水道事業会計決算の認定について	認　定
議案66	令和７年度向日市公共下水道事業会計決算の認定について	認　定
議案67	向日市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案68	令和８年度向日市一般会計補正予算（第４号）	原案可決
議案69	令和８年度向日市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議案70	令和８年度向日市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議案71	令和8年度向日市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
請願4	３歳以上の知的障害者（児）に対する紙おむつ購入費助成制度創設に関する請願	採　択
意見書4	「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書	原案可決

※議案等の内容は、向日市議会ホームページ「議案・議決結果」で公開しています。

向日市議会だより
No.268

研修会を開催しました

令和８年10月８日（木）に令和８年度向日市議会議員研修会を開催いたしました。「事例で考える議会運営のポイント」をテーマに、廣瀬　和彦　氏から講演をいただきました。



第４回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/15	16	17	18 議会運営委員会	19	20	
22	23	24	25 本会議（提案説明）	26	27	
29	30	12/1	2	3	4 議会運営委員会	5
6	7 本会議（一般質問）	8 本会議（一般質問）	9 本会議（予備日）	10 厚生常任委員会	11 建設環境常任委員会	12
13	14 総務文教常任委員会	15	16 議会運営委員会	17 本会議（委員長報告・討論・採決）	18	19

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。
なお、議案の内容は本会議初日の翌日にホームページに公開されます。お問い合わせは議会事務局まで。
議会事務局　874－3540（直通）　931－1111（市役所代表）

議会のうごき

7日8日　北海道北斗市議会視察来庁
16日　石川県小松市議会視察来庁
21日　全国市議会議長会地方行政委員会
22日　三重県鈴鹿市議会視察来庁
24日　議会運営委員会
議会活性化特別委員会
31日　埼玉県飯能市議会視察来庁

8月7日　京都地方税機構議会（京都市）
17日　議会運営委員会
会派代表者会議
24日　本会議（初日）
議員全員協議会
26日　議員全員協議会
28日　京都府後期高齢者医療広域連合議会（京都市）

9月2日　議会運営委員会
3日　本会議　第２日（一般質問）
4日　本会議　第３日（一般質問）
7日　議会活性化特別委員会
9日　厚生常任委員会
10日　建設環境常任委員会
11日　総務文教常任委員会
16日　議会運営委員会
17日　本会議　最終日
30日　乙訓環境衛生組合議会

編集後記

秋の深まりとともに、朝夕の空気にも少しずつ季節の移ろいを感じます。議会では、地域のこれからを見据え、今ある課題をどう受け止め、どう前へ進めていくのか、議論も重ねています。一つの答えを出すまでには、さまざまな意見に耳を傾け、知恵を出し合うことが欠かせません。時には意見が異なることもありますが、互いの考えを尊重しながら、良い道を探ることが議会の役割です。議会がより良いまちの未来を描く場となるよう、これからも一歩一歩、取り組んでまいります。

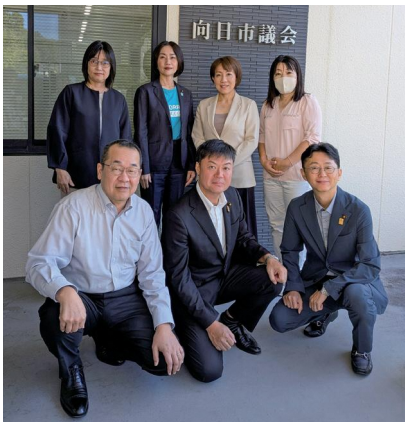
（議会だより編集委員会）

議会だより編集委員に異動がありました

8月12日付けで議会運営委員会の議会構成が変わりました。

【議会運営委員】
新委員　青山　まゆみ

新委員　松本　みゆき



発行　向日市議会
住所　〒617-8665
京都府向日市寺戸町中野20
編集　議会だより編集委員会
電話　075(874)3540　FAX　075(931)4188
URL　https://www.city.muko.kyoto.jp/site/shigikai/
e-mail　gikai@city.muko.lg.jp

VEGETABLE OIL INK
UD FONT
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。